

ニホンナシの収穫期予測

<気温経過と生育>

本年の主要品種の発芽は平年並み～やや遅れたが、その後の4月前半の気温が高く推移したことから、開花始めは4～6日早まり、わずか1日で満開期となった。満開後30日間の平均気温は平年よりもやや高く推移している（表1左）。

<収穫期の予測>

「幸水」、「豊水」および「南水」の成熟日数はそれぞれ、125日、142日および151日となり、本年の収穫始めは8/19、9/3および9/11と予測された（表1右）。なお、この予測日は満開後30日間の平均気温を基にした予測である。各品種の満開後日数を目安に成熟状況（果皮色、内部品質）を注視し、収穫適期を判断する。

表1 ニホンナシ主要品種の収穫始期の予測（南信農業試験場、2022年）

品 種	満開日		満開後30日間の平均気温(°C)		収穫始め				
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年 (予測)	平 年	平年差	昨年実測	昨年差
幸 水	4/16	4/23	14.4	14.1	8/19	8/23	- 4	8/20	- 1
豊 水	4/14	4/20	14.4	13.7	9/3	9/7	- 4	8/27	+ 7
南 水	4/13	4/18	14.5	13.6	9/11	9/17	- 6	9/8	+ 3

予測値は満開後30日間(満開日含む)の平均気温(南信農業試験場内)から算出した(-は早い、+は遅い)。  
平年値は平成13年～令和2年(2001～2020年)までの20年間の平均値。  
昨年の「豊水」の収穫始めが早いのは、果実のみつ症発生により収穫始めを早めたためである。  
この予測は2021年5月13日現在の予測であり、今後の気象の推移により変動する。

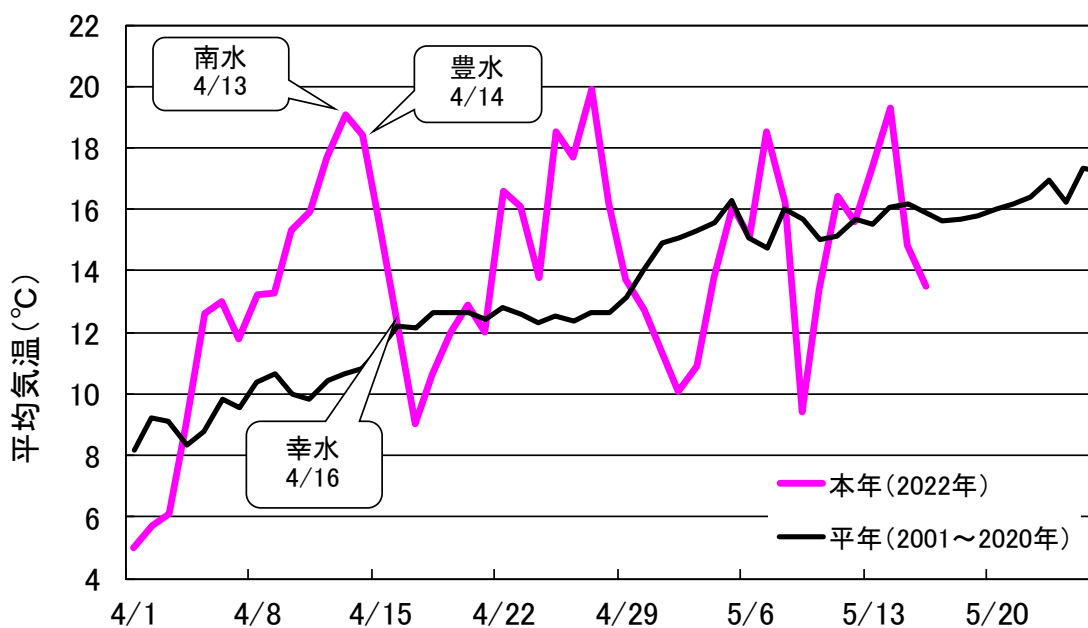


図1 主要品種の満開日と開花～幼果期の平均気温の推移(南信農業試験場、2022年)